

公立病院改革プランの概要

団体名	美祢市						
プランの名称	美祢市病院事業経営改革プラン						
策定期日	平成 21年 3月 31日						
対象期間	平成 21年度 ~ 平成 23年度						
病院の現状	病院名	美祢市立美東病院					
	所在地	美祢市美東町大田3800番地					
	病床数	100床					
	診療科目	内科、外科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、麻酔科、眼科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、婦人科、リハビリテーション科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	都市部との均てんを図り、当該地域住民の福祉の増進に資するための医療を確保するなど、自治体病院の本来の使命を果たすとともに、地域包括医療・ケア体制を整え、地域住民に対して予防と診療の一体的な提供に努めるとともに地域の医療機関との連携を構築し、べき地医療に対する支援の充実に努める。						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	基本的に地方公共団体の一般的事務であったり、もともと採算性の低い活動に伴う経費、さらには両病院が過疎地内にある小規模病院であり、必ずしも病床規模に比例しない固定経費的な財政需要により財政圧迫が余儀なくされる部分に対する一般会計からの負担。						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	80.9	98.8	100.0	101.7	101.8	
	職員給与費比率	65.2	65.5	66.5	63.5	63.5	
	〃 (退職給与費除く)	63.2	63.5	62.2	60.5	59.9	
	病床利用率	97.1	100.0	98.0	98.0	98.0	
	医業収支比率	78.1	92.3	94.3	96.8	96.9	
	材料費対医業収益比率	15.7	13.5	12.7	12.6	12.6	
上記目標数値設定の考え方		○地方公営企業法の全部適用へ移行に取り組むとともに2病院の機能を分化することによって経営の効率化を図り、少なくとも計画期間中の黒字化を目指す。 (経常黒字化の目標年度:21年度)					

							団体名 (病院名)	美祢市(美祢市立美東病院)
公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
紹介率		19.0	19.0	19.0	19.0	21.0		
平均在院日数		21.5	20.0	20.0	20.0	20.0		
経営効率化に係る計画	民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ○民間委託の推進：医事業務、清掃業務、給食等については、既に外部委託を実施しているが、本院と美祢市立病院における業務を一体的に見直し、統一した仕様を作成のうえ、包括的な業務委託を行うことによってさらに効率的な業務の遂行、コストダウン、サービス改善を図る。 ○診療材料・薬品発注の効率化：現在、診療材料については、2病院において個別に物流管理システムが機能しているが、当該システムを統合することによってスケールメリットを追求するとともに、薬品についても今後、導入を検討。 						
	事業規模・形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○事業規模については、現在美祢市立病院と重複する診療科目や非常勤医師によって対応されている診療科目を整理・再編するなど機能を分化することによって効率の良い診療体制を整えながら、患者の動向等踏まえて決定する。 ○また、形態の見直しについては、機能分化や経営改善と合わせて検討を行い、地方公営企業法全部適用の移行について、平成21年度中に結論を得るものとする。 						
	経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ○機能分化によって、本院と美祢市立病院の機能を特化させることによって医療機器や医療スタッフを集約化させ、無駄な設備投資を抑制や人件費の適正化を図る。 ○業務委託については、二病院間の仕様の統一化と包括化の取組によって経費削減を図る。 ○診療材料や薬品については、二病院間の共同購入によるスケールメリットを活かした契約単価の低廉化を図る。 						
	収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療連携室を起点とした地域の医療機関や福祉施設との連携強化によって地域完結型医療を推進する。 ○医師の確保によって、質の高い医療の安定的提供する。 ○収入確保対策として請求漏れや減点対策の徹底するとともに未収金対策として発生防止と収金の早期回収に取り組む。 ○予防・検診業務の拡充 						
	その他							
	各年度の収支計画	別紙のとおり						
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	86.8%	18年度	94.3%	19年度	97.1%	
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○美祢市立病院並びに美祢市立美東病院における機能の分化によって病床数等の見直しに取り組むものとする。 ○また、施設の増改築計画については、現在、予定されていない。 						

		団体名 (病院名)	美祢市(美祢市立美東病院)
再編・ネットワーク化に係る計画		二次医療圏内の公立病院等配置の現況	
都道府県医療計画等における今後の方向性		美祢市立病院、美祢市立美東病院、山口大学医学部付属病院、宇部興産中央病院、厚南セントヒル病院、宇部共立病院、宇部第一病院、宇部リハビリテーション病院、尾中病院、山口労災病院、小野田赤十字病院、山陽小野田市民病院、瀬戸病院、長沢病院	
再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		<時 期> 平成23年度	<内 容> ①本市においては、既存の二つの公立病院を存続させることとし、診療科目の整理再編とそれに伴う医療機器の集約化や人員配置を検討し、医療資源の適正配置を図るものとする。さらに、地域医療機関連携強化についても検討、協議。 ②病院関係者及び行政職員により構成される内部検討組織並びに有識者や一般公募委員等から構成される外部検討委員会 ③結論のとりまとめは平成23年度とする。
経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)		<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		<時 期> 平成21年度	<内 容> ①美祢市病院事業のあり方について諮問した外部検討委員会からの答申を踏まえ、地方公営企業法全部適用への移行について検討協議するものとする。 ②病院関係者及び行政職員により構成される内部検討組織並びに有識者や一般公募委員等から構成される外部検討委員会 ③結論のとりまとめは平成21年度中とする。
点検・評価・公表等 点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)		実施機関として病院関係者及び行政職員により構成される内部検討組織を設置するとともに、評価の客觀性を確保するため有識者や一般公募委員等から構成される外部検討委員会を平成21年度中に設置予定	
点検・評価の時期(毎年〇月頃等)		平成21年度中の実施を予定	
その他特記事項			

1. 収支計画(収益の収支)

(単位:百万円、%)

年 度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	年 度						
収	1. 医業収益 a	1,191	1,243	1,298	1,363	1,374	1,374
	(1) 料金収入	1,064	1,122	1,176	1,220	1,220	1,220
	(2) その他の	127	121	122	143	154	154
	うち他会計負担金	47	42	49	62	63	62
	2. 医業外収益	90	112	208	158	147	147
	(1) 他会計負担金・補助金	64	83	147	144	144	144
	(2) 国(県)補助金			1			
入	(3) その他の	26	29	60	14	3	3
	経常収益(A)	1,281	1,355	1,506	1,521	1,521	1,521
支	1. 医業費用 b	1,480	1,592	1,406	1,445	1,419	1,417
	(1) 職員給与費 c	755	810	850	907	872	872
	(2) 材料費	226	195	175	173	173	173
	(3) 経費	185	195	254	235	240	239
	(4) 減価償却費	140	129	123	121	124	123
	(5) その他の	174	263	4	9	10	10
	2. 医業外費用	86	82	119	76	77	76
	(1) 支払利息	53	53	50	48	48	48
出	(2) その他の	33	29	69	28	29	28
	経常費用(B)	1,566	1,674	1,525	1,521	1,496	1,493
	経常損益(A)-(B) (C)	△ 285	△ 319	△ 19	0	25	28
特別損益	1. 特別利益(D)	111	175				
	2. 特別損失(E)						
	特別損益(D)-(E) (F)	111	175	0	0	0	0
	純損益 (C)+(F)	△ 174	△ 144	△ 19	0	25	28
	累積欠損金(G)	675	819	837	843	818	790
不良債務	流動資産(ア)	277	314	282	367	473	488
	流動負債(イ)	272	353	311	323	321	230
	うち一時借入金	190	190	190	190	190	100
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入(エ) 又は未発行の額						
	差引[(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)](オ)	△ 5	39	29	△ 44	△ 152	△ 258
	単年度資金不足額(※)	49	44	△ 10	△ 73	△ 108	△ 106
	経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	81.8	80.9	98.8	100.0	101.7	101.9
	不良債務比率 $\frac{(I)}{a} \times 100$	△ 0.4	3.1	2.2	△ 3.2	△ 11.1	△ 18.8
	医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	80.5	78.1	92.3	94.3	96.8	97.0
	職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	63.4	65.2	65.5	66.5	63.5	63.5
	地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	39	29	0	0	0
	地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	3.1	2.2	0.0	0.0	0.0
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病床利用 rate	94.3	97.1	100.0	98.0	98.0	98.0

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	美祢市(美祢市立美東病院)
--------------	---------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年 度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	年 度						
収	1. 企 業 債	86	23	29		19	20
	2. 他 会 計 出 資 金						
	3. 他 会 計 負 担 金	62	73	35	107	85	85
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国(県)補助金						
	7. そ の 他		2				
入	収 入 計 (a)	148	98	64	107	104	105
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0				
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0				
	純計(a)−{(b)+(c)} (A)	148	98	64	107	104	105
支	1. 建 設 改 良 費	87	25	36	20	19	20
出	2. 企 業 債 償 還 金	92	108	130	143	140	143
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. そ の 他						
	支 出 計 (B)	179	133	166	163	159	163
差	引 不 足 額 (B)−(A) (C)	31	35	102	56	55	58
補	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	36	△ 4	73	95	197	302
て	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
ん	3. 繰 越 工 事 資 金						
財	4. そ の 他						
源	計 (D)	36	△ 4	73	95	197	302
補	てん財源不足額 (C)−(D) (E)	△ 5	39	29	△ 39	△ 142	△ 244
当	年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 (F)						
又	は 未 発 行 の 額						
実	質 財 源 不 足 額 (E)−(F)	△ 5	39	29	△ 39	△ 142	△ 244

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。

2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	(111,453) 222,894	(175,058) 300,302	(89,118) 195,579	() 205,663	() 206,487	() 206,314
資 本 的 収 支	() 61,584	() 72,589	(3,990) 32,429	(20,292) 106,697	() 84,980	() 85,130
合 計	(111,453) 284,478	(175,058) 372,891	(93,108) 228,008	(20,292) 312,660	() 291,467	() 291,444

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

1. 収支計画（収益の収支）

(単位:百万円、%)

年 度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	年 度						
収	1. 医業収益 a	3,187	3,057	3,164	3,385	3,462	3,504
	(1) 料金収入	2,944	2,826	2,932	3,105	3,171	3,213
	(2) その他の	243	231	232	280	291	291
	うち他会計負担金	89	84	100	126	127	126
	2. 医業外収益	659	706	883	797	786	786
	(1) 他会計負担金・補助金	288	287	380	274	274	274
	(2) 国(県)補助金	1	1	2	0	0	0
入	(3) その他の	370	418	501	523	512	512
	経常収益(A)	3,846	3,763	4,047	4,182	4,248	4,290
支	1. 医業費用 b	3,671	3,618	3,511	3,553	3,541	3,574
	(1) 職員給与費 c	1,823	1,787	1,849	1,915	1,895	1,899
	(2) 材料費	839	761	793	795	796	804
	(3) 経費	504	520	603	571	576	575
	(4) 減価償却費	319	278	252	250	251	273
	(5) その他の	186	272	14	22	23	23
	2. 医業外費用	549	594	717	704	673	673
	(1) 支払利息	133	129	121	110	79	80
出	(2) その他の	416	465	596	594	594	593
	経常費用(B)	4,220	4,212	4,228	4,257	4,214	4,247
	経常損益(A)-(B) (C)	△ 374	△ 449	△ 181	△ 75	34	43
特別損益	1. 特別利益(D)	111	175	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E) (F)	111	175	0	0	0	0
	純損益 (C)+(F)	△ 263	△ 274	△ 181	△ 75	34	43
	累積欠損金(G)	849	1,124	1,304	1,385	1,351	1,308
不良債務	流動資産(ア)	1,453	1,243	1,023	1,170	1,411	1,583
	流動負債(イ)	467	518	483	499	461	407
	うち一時借入金	190	190	190	190	190	100
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
	差引 [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)] (オ)	△ 986	△ 725	△ 540	△ 671	△ 950	△ 1,176
	単年度資金不足額(※)	159	261	185	△ 131	△ 279	△ 226
	経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	91.1	89.3	95.7	98.2	100.8	101.0
	不良債務比率 $\frac{(I)}{a} \times 100$	△ 30.9	△ 23.7	△ 17.1	△ 19.8	△ 27.4	△ 33.6
	医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	86.8	84.5	90.1	95.3	97.8	98.0
	職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	57.2	58.5	58.4	56.6	54.7	54.2
	地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0
	地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	病床利用 rate	89.5	86.2	86.1	85.2	87.4	91.0

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	美祢市
--------------	-----

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年 度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	年 度						
収	1. 企 業 債	86	23	85	829	219	76
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	30	30	30
	3. 他 会 計 負 担 金	62	73	60	220	162	162
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	5	0	0	0
	7. そ の 他	0	2	0	0	0	0
入	収 入 計 (a)	148	98	150	1,079	411	268
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
	純計(a)−{(b)+(c)} (A)	148	98	150	1,079	411	268
支	1. 建 設 改 良 費	145	124	103	79	219	81
出	2. 企 業 債 償 還 金	269	277	331	1,089	280	285
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	支 出 計 (B)	414	401	434	1,168	499	366
差	引 不 足 額 (B)−(A) (C)	266	303	284	89	88	98
補	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,252	1,028	811	732	993	1,216
てん	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0
財	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
源	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	1,252	1,028	811	732	993	1,216
補てん財源	補てん財源不足額 (C)−(D) (E)	△ 986	△ 725	△ 527	△ 643	△ 905	△ 1,118
当	年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)	0	0	0	0	0	0
実	質 財 源 不 足 額 (E)−(F)	△ 986	△ 725	△ 527	△ 643	△ 905	△ 1,118

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。

2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	(260,939) 489,429	(308,843) 546,334	(250,000) 479,583	(37,000) 399,426	(37,000) 400,250	(37,000) 400,077
資 本 的 収 支	() 61,584	() 72,589	(13,652) 57,242	(85,292) 249,686	(30,000) 191,980	(30,000) 192,130
合 計	(260,939) 551,013	(308,843) 618,923	(263,652) 536,825	(122,292) 649,412	(67,000) 592,230	(67,000) 592,207

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。